



べにまる

発行責任者

加藤邦彦

つらい思いをしていないか

校長 加藤邦彦

私が小学生の頃、大流行のお笑いグループがあり、そのメンバーの中に、私の名字と同じコメディアンがいました。私は友達から先生がない時に限って、そのコメディアンの名前で呼ばれていました。とても不快で憂鬱でした。今にして思うと、そういう呼び方をしないように相手にきちんと伝えるべきでしたが、それができませんでした。今、留寿都小学校に、私と同じように、つらい思いをしている子どもはないのかと、いつも案じています。

1日防災学校～8月29日～



<1日防災学校とは・・・>

学校が主となり、授業の中に防災の要素を取り入れ、子どもたちが防災について考える1日とするもの。

今回は、

- 1・2年生→新聞スリッパ制作
- 3・4年生→防災かるた
- 5・6年生→災害食作り
- 全学年→→→避難訓練（地震想定）を行いました。

防災について、みんなで考えました

「輝きを未来に！」・自ら学ぶ子・最後までやりぬく子・思いやりのある子・体をきたえる子



- 生活目標
- ☆学習目標
- 保健目標
- ◇給食指導

- 「運動や遊びを工夫しよう」
- 「文字をていねいに書こう」
- 「けがに気を付けよう」
- 「好き嫌いしないで食べよう」

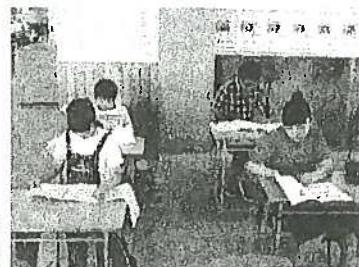
夏小っ子 あれこれ

留寿都小サマーコース実施(7/27~31)

夏休み中の3日間、3~6年生の希望者を対象に、「留寿都小学校サマーコース」を実施しました。

3日間とも50名前後の児童が参加し、1学期の復習や苦手な内容、応用問題を中心に、国語や算数の学習に取り組みました。

暑い中でしたが、時間まで真剣に取り組むことができました。



留学生交流会～8/22

8月22日（水）、今年度も東京外国語大学から6名の留学生が来校し、1日子どもたちと楽しく活動しました。

自己紹介の後、しっぽ取りゲームやフルーツバスケット、bingoで遊んだり、かるたや福笑いなどの日本の遊びで交流したりと、学校のあちらこちらで、小さな国際交流が行われました。

秋の遠足～8/24

8月24日（金）に、縦割り班による秋の遠足を行いました。

どの班もメンバーで決めた約束をもとに、1年生から6年生まで、力を合わせて頑張りました。

歩く速さなど、低学年には大変な所もありましたが、リーダーを中心に声をかけ合い、全員が目的地である「留寿都村ふるさと公園」に到着しました。

「疲れた～」という声も聞かれましたが、満足感いっぱいの表情がたくさん見られたり、時間まで班のメンバーで仲良く遊んだりと、とても楽しい遠足となりました。



* 当初、橿負山への登山遠足を計画しておりましたが、山頂のトイレが使用できない関係で、今年度は、留寿都村のサイクリングロードを使った遠足となりました。

楽しい作品の数々～夏休み作品展～

8月22日（水）から28日（火）までの期間で、夏休み作品展を行いました。今回も力作揃い。各学年の素晴らしい作品がホールいっぱいに並びました。

そのため、朝や帰り、休み時間には、熱心に作品を楽しむ子どもたちの姿がたくさん見られました。
＜手に持つてもよいコーナー＞ ＜じっくり目で楽しむコーナー＞



＜村の広報誌に掲載される児童＞

- | | | |
|----|----|------|
| 1年 | 真子 | 誉さん |
| 2年 | 森 | 翔琉くん |
| 3年 | 今野 | 柊飛くん |
| 4年 | 高田 | 芽衣さん |
| 5年 | 加茂 | 莉夏さん |
| 6年 | 反保 | 舞花さん |